



無水染色技術でサステナブルな社会へ

e.dye（イーダイ）と三栄コーポレーション 独占販売契約締結を合意、国内販売開始

(株)三栄コーポレーション（東京都台東区、代表取締役社長 小林敬幸、ジャスダック上場 証券コード 8119）は、“より地球にやさしい”をコンセプトとした“Our EARTH Project”を推進し、持続可能な社会の実現に向け「サステナブル」「エシカル」というキーワードに合致するブランド商品、素材、サービスの提供事業を行っております。

今般、素材提供の一環として、技術優位性と特長を持つ無水染色（原着）技術を採用するe.dye社（本社：香港）と日本国内における独占販売契約締結の合意に至りました。

生地染色過程では大量の水が消費されますが、無水染色（原着）技術は紡糸工程で着色するため、水を使った染色はせず、節水に貢献できること。また、顔料を繊維自体に練り込むため、発色性や安定性に優れ、一般の染色よりも耐光をはじめ各種堅牢度が高い点が利点としてあげられます。量産面では、紡糸段階からの着色となるため、紡糸製造工程が大掛かりとなり、製造ロットが大きくなるという背景から、繊維・アパレル業界をはじめとして、これまで広く普及するには至っておりませんでした。

この課題を改善するため、e.dye社は自社設備環境を改良し、従来と比較して小ロットでの対応を可能としました。また、当社がサプライチェーンに加わり在庫販売を行うことにより、さらにロット対応を柔軟にし、この高機能で、環境負荷の少ない技術を、より多くのお客様に広めることを目指してまいります。本年10月に開催されたサステナブルファッションEXPOにてこの取組みをご紹介します、多くの反響をいただいております。



2021年10月開催 サステナブルファッションEXPO

なお、サステナブルな社会の実現の一翼を担う無水染色（原着）技術は過去から存在しますが、e.dye社の技術には次のような差異化ポイントがあります。

〔e.dye®社無水染色（原着）技術の特長〕

1. 独自のデジタルカラーマネジメントシステムの採用で5000色以上の色レシピを有し、幅広いご要望に対応できる色の再現性
2. 従来の製品染めに比べて、使用する水を85%削減、化学品90%削減（e.dye®が使用する化学品はすべてOekoTex-100に適合）、CO₂排出量も12%抑えることが可能
3. スウェーデン発の環境製品宣言認証プログラム“EPD”に登録しており、製品当りの環境負荷低減度合を製品タグに表示できる仕組みを提供

当社は、e.dye社の素晴らしい技術と環境負荷の低い材料の取扱いを通じて、よりサステナブルなモノづくりを実現できると考えており、今後、ユニフォーム業界をはじめアパレル業界、アウトドア業界を中心に、幅広い業界に対して、生地販売と製品づくりのお手伝いを積極的に展開してまいります。

〈本件の卸売りに関するお問い合わせ先〉
株式会社三栄コーポレーション 服飾雑貨事業部 oep_info@sanyecorp.co.jp

〈本件に関するメディア関係者の皆さまからのお問い合わせ先〉
株式会社三栄コーポレーション 営業本部 TEL 03-3847-3520 / relation@sanyecorp.co.jp（担当：池田）